



資産配分チェックシート

資産をどのように振り分けて運用するか(資産配分)を決めるためのシートです。

ご自身の運用に関する考え方(タイプ)を見つけることができます。

● 詳しくはテキスト「運用の世界へようこそ!」4、5章をご覧ください。

資産配分のタイプ

あなたの資産配分はどのタイプでしょうか？

Q1～Q5の質問について選択肢から回答を1つ選び、ポイントを合計してください。

Q1 運用期間	あなたの年代は次のどれですか？ ■ 20 歳代以下 40 ■ 30 歳代 30 ■ 40 歳代 20 ■ 50 歳代以上 10	ポイント 〇 ポイント
Q2 将来の収支見通し	確定拠出年金で積立した資産を何に使いますか？ ■ 趣味や旅行など余暇の資金 20 ■ 決めていない 15 ■ 老後の生活費 10 ■ 住宅ローン等、借入金の返済 5	ポイント 〇 ポイント
Q3 年金以外の資産	確定拠出年金以外に老後資金の準備はしていますか？ ■ 準備できている 15 ■ 準備を始めている 10 ■ 何もしていない 5	ポイント 〇 ポイント
Q4 運用経験	株式・投資信託などの運用経験はありますか？ ■ 運用経験はある 15 ■ 運用経験はないが関心はある 10 ■ 運用経験はない 5	ポイント 〇 ポイント
Q5 リスクに対する考え方	運用に関してどの考え方に一番近いですか？ ■ リスクが大きくても、積極的に高い収益を期待したい 20 ■ 適度なリスクをとって、適度な収益を期待したい 15 ■ 大きなリスクは取りたくないが、少しは収益を期待したい 10 ■ 増やすことよりも減らさないことを優先したい 5	ポイント 〇 ポイント

合計ポイントからあなたの資産配分のタイプを見つけましょう。



積極運用



安定運用

タイプ A

95～110 ポイント

タイプ B

80～90 ポイント

タイプ C

65～75 ポイント

タイプ D

50～60 ポイント

タイプ E

35～45 ポイント

タイプ F

30 ポイント

合計ポイント



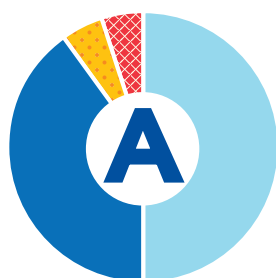
損保ジャパンDC証券株式会社

資産配分例は
裏面へ

資産配分の参考例

タイプ別の資産配分の参考例です。資産配分の違いによって期待リターン・リスクが異なります。

積極型 株式比率 90%

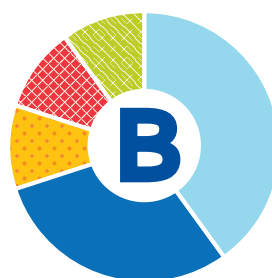


国内株式 50%
外国株式 40%
国内債券 5%
外国債券 5%
元本確保型 0%

期待リターン ... 5.0%
リスク 15.2%

リスクの大きい株式へ多く配分し、高い運用利回りを積極的に求めます。短期的には非常に大きく元本を下回ることも予想されます。リスクをとり高いリターンを目指し、長期運用が可能な方などに適しています。

成長型 株式比率 70%

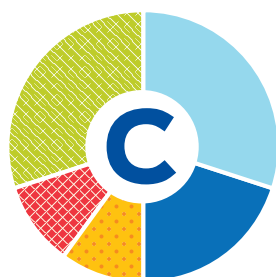


国内株式 40%
外国株式 30%
国内債券 10%
外国債券 10%
元本確保型 10%

期待リターン ... 3.9%
リスク 12.1%

リスクの大きい株式への配分比率を大きくし、長期的には高い運用利回りを求めます。短期的には大きく元本を下回ることも予想されます。リスクに抵抗がなく、長期運用が可能な方などに適しています。

安定成長型 株式比率 50%

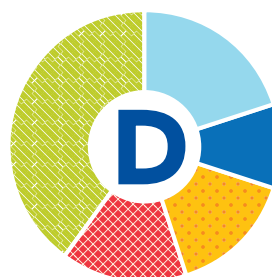


国内株式 30%
外国株式 20%
国内債券 10%
外国債券 10%
元本確保型 30%

期待リターン ... 2.8%
リスク 8.8%

全体の半分をリスクの大きい株式に配分し、長期的にある程度高い運用利回りを求めます。短期的には大きな価格変動も予想されます。リスクに抵抗がなく、ある程度の長さの運用期間をとる方などに適しています。

安定型 株式比率 30%

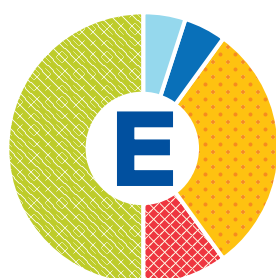


国内株式 20%
外国株式 10%
国内債券 15%
外国債券 15%
元本確保型 40%

期待リターン ... 1.8%
リスク 5.8%

リスクの大きい株式への配分比率を小さくし、中長期的に一定の運用利回りを実現することと、資産全体の大きな価格変動を避けることの両方を追求する方などに適しています。

安定重視型 株式比率 10%



国内株式 5%
外国株式 5%
国内債券 30%
外国債券 10%
元本確保型 50%

期待リターン ... 0.6%
リスク 2.5%

比較的风险の小さい資産に多く配分し、運用利回りの追求よりも安定性を重視します。リスク資産にも配分したいが、資産全体の大きな価格変動を避ける方などに適しています。

元本確保型 元本確保型 100%



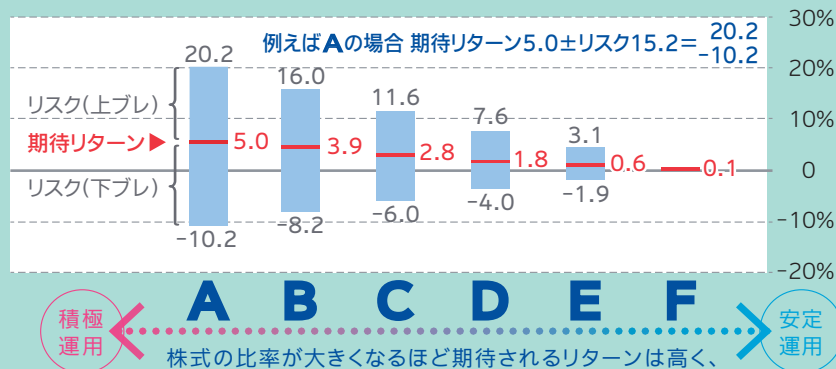
国内株式 0%
外国株式 0%
国内債券 0%
外国債券 0%
元本確保型 100%

期待リターン ... 0.1%
リスク 0.0%

資産の全てを元本確保型に配分します。高い運用利回りは望めませんが、運用リスクを取りたくない方、給付を間近に控えて資産残高を維持したい方などに適しています。

※上記の期待リターン・リスクは、アセットマネジメントOne(株)提供のデータ(2019年12月)を参考に、損保ジャパンDC証券が作成したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

各タイプの期待リターンとリスク (リターンとは運用によって得られる収益や損失のことです。)



期待リターン

A～Fのように資産を配分した場合、長期的にどの程度のリターンが期待されるかを表します。期待リターンは一年あたりの数値です。

リスク

値動きのある株式や債券に投資することにより、実際のリターンが「期待リターン」と比べてどの程度上下にブレる可能性があるかを表します。(リスクの程度以上にブレる場合もあります。)リスクは一年あたりの数値です。

資産配分の参考例をもとに、運用商品一覧から具体的な運用商品を決めましょう。

● 詳しくはテキスト「運用の世界へようこそ!」4、5章をご覧ください。